

令和4年度 第1回 学校運営協議会

日時：令和4年7月20日(水) 13:30～15:00

場所：別館ふれあい教室

出席者：大東委員、田中委員、松宮委員、福留委員、津田委員

事務局：重松校長、橋爪教頭、中川事務長、小林首席、長谷川先生（教務部長）
和田先生（生徒指導部長）、田中裕先生（進路指導部長）、
奥田先生（1年学年主任）、北郷先生（2年学年主任）
（書記：小林先生、金田先生）

欠席者：田井委員、岩田首席、上野先生（生徒会主担）、西基先生（保健部長）、
岡田先生（3年学年主任）、中田先生（書記）

内容

1 校長挨拶

2 委員の紹介、事務局の紹介

（佛教大学 大東教授、大阪誠昭会 田中理事長、追手門大学 松宮教授、
寝屋川市立第6中学校 福留校長、寝屋川市社明運動十中校区協議会 津田会長）

3 会長選出（佛教大学 大東教授）

4 学校経営計画について

中期的目標に対する活動報告

- ・普通教室にプロジェクターを設置するなど、学習環境の改善に努める
- ・今年度は、従来の行事予定通りに活動を実施中。

5 各分掌・学年からの説明

【教務部】

- ・令和5年度の教科書選定
→新1・2年生は、新カリキュラムの教科書、3年は旧カリキュラム
- ・行事予定の作成と時間割編成
- ・定期考査の時間割編成
- ・次年度のコース選択・科目選択やクラス編成準備等
→新2年生の理数アドバンス選択人数が増加、専門コースの充実に取り組む
- ・成績処理作業関係等
- ・今年度1年生に対する「観点別学習状況の評価」実施

【生徒指導部】

- ・遅刻者の減少に向けた指導
→遅刻の判断基準をチャイムの「鳴り始め」にしたことで、減少の見込みあり
（7月時点で昨年度430→350件に）
- ・交通安全に関する指導
→交通安全指導などの充実

【生徒自治会】

- ・ 体育祭の満足度 90%以上
- ・ 文化祭 分散登校にて9月実施予定
- ・ 部活動加入率 63%
- ・ 地域清掃、SGS、他校との交流などの地域への奉仕活動や交流活動の実施

【進路指導部】

- ・ 安全志向の受験生が増加傾向
- ・ 一般入試の合格率が増加傾向
- ・ 就職率はコロナの影響かやや低下(1次合格率は100%)
- ・ 進学実績報告
国公立大理系に1名、関関同立、摂南大、大経大 増加
- ・ 実力テストを活用していきたい
- ・ 就職ゼミ 手厚くしている
- ・ 自習室新設 稼働率はそこそこ

【保健部】

- ・ コロナ感染防止対策にかかる注意喚起(昼食時)放送を教員から生徒(保健委員)の録音に
- ・ トイレが5つ新しくなる(和式→洋式に)

【総務部】

- ・ 本校HP 更新頻度をアップしている(行事、部活動等)
- ・ 同窓会 久しぶりに実施できた
- ・ 今年度 PTA協議会 第4ブロックの幹事校 全国大会@石川県で発表予定
- ・ 学校説明会(外部) 昨年度より増加

【1年生】

- ・ 「自分に自信をつける」を軸に目標設定
- ・ 外部模試の結果も良好
- ・ 挨拶をしてくれる生徒も多い一方で、内面に問題を抱える生徒も・・・
→学校行事等を通じて、「自分を出す」機会を増やしていく

【2年生】

- ・ 探究の時間 SDG's をテーマに(修学旅行にもつなげる)
- ・ 中だるみの2年生、そうならないように事前の生徒指導をしている
- ・ 遠足 欠席60名 コロナ禍も影響しているか?

【3年生】

- ・ 4月の遠足はUSJに
- ・ 6月の体育祭も(最高学年として)頑張った
- ・ 進路に向けた取り組み(面接指導等)も開始
- ・ 9月の文化祭に向け、準備を進めている。今年は3年生の保護者のみ招待する予定

6. 協議 (敬称略)

①スクール・ミッションの策定について

(大東委員) 上級校との接続に基づいて、めざすべき生徒像を検討されてはどうか。

(松宮委員) 現状のクラス数、教員数とカリキュラムや専門コースとが適正か。

→ (校長) 教員数は、クラス規模(生徒数)で定数が定められており、専門コースや英語少人数指導等に加配があり、また、多様な科目選択(授業)ができるよう、各教科・科目の時間数をもとに非常勤講師時数等が決定される。

→ (松宮委員) 出口戦略も含め、阜の特色を活かし方向性を明確にしていくべき

(田中委員) スクールミッション(10年間)の見通しとのことだが、管理職が異動したときに、転入された校長は、前任者の意向を引き継がなければならないのか。

→ スクールミッションについては、本校の校訓や地域からのニーズなど、普遍的な物。スクールポリシーや、学校経営計画は、そのミッション達成のためのアプローチ。管理職が変われば、達成方法が変わることはあり、適宜、アップデートしていくもの

(津田委員) ずっとこの地域にいるので、地元活性化のために頑張ってもらいたい。

②新カリキュラムの導入について

(松宮委員) 作業量は増加しているか？

→ (小林) 作業量は増加。特に1年生の成績処理について教科間での情報共有ができていなかった。今後、すぐに情報共有・意見交換の場を持つ。

③生徒指導について

(福留委員) 高校に上がるまでに、クリアしておいてほしい最低ラインは？

→ (和田) 「本校で何をしたいのか」を持ってほしい。

④近年の高倍率について

(田中委員) 阜は何故倍率が高いか。何が求められているのか。

その理由が阜らしさではないか。

→ 要因を把握し、そこを阜の強みにしていくのがいいのではないか。

以上